

令和4年12月6日

6年生保護者様

丹波市立西小学校

校長 梅垣 泰三

「令和4年度全国学力・学習状況調査」結果の概要について

見出しのことにつきまして、お子様の調査の結果について概要をお知らせします。

本調査は、学校の教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために実施する調査です。調査の結果は、学力の特定の一部であり、お子様の学力の全てを示すものではありません。

つきましては、下記の「調査結果と今後の対応」を参考にいただき、家庭での学習や生活の様子を見直すきっかけにしていただければと思います。

なお、西小学校では、調査結果をもとに、子供たち一人一人が、自ら考えて行動できる力が育つよう、引き続き、指導方法の工夫改善、授業力の向上に努めてまいります。ご不明な点がございましたら担任までご相談ください。

記

1 調査の結果と今後の対応

- (1) 「自己肯定感」に関する設問では、「難しいことも失敗を恐れず挑戦する」と回答した割合は全国平均を上回りました。ところが、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標がある」と回答した児童の割合は、全国平均を下回りました。

新型コロナで社会が混乱し、学校や家庭、地域の活動などが制約されたことが影響している可能性があると考えられます。

➡自己肯定感を育て、将来に夢や希望が持てる取り組みの充実。

- (2) 「国語」は全国平均とほぼ同じでした。「算数」「理科」は全国平均をやや下回りました。

特に課題が見られたのは、算数の「果汁20%の飲み物を2人で分けると果汁の割合はどうか？」という設問でした。「2分の1になる」と誤答した児童が半数以上でした（「変わらない」が正解）。実生活で経験的に理解していることが、学習と結び付いていない可能性があると考えられます。

➡学習の土台となる活動や体験を下学年のうちから十分に経験させる取り組みの充実。

- (3) タブレット端末を「考えをまとめ、発表する場面で活用する」と回答した児童の割合は、全国とほぼ同程度で、普段使いが浸透していることが伺えます。しかし、スマホ等でのゲーム時間が「1日1時間以上」と回答した児童の割合は、全国平均より高く、新型コロナによる行動制限でゲーム時間が増えた生活習慣が定着した可能性もあると考えられます。

➡ノーメディア週間など、家庭と連携した取り組みの継続。